

小4国語⑤

氏名

月 日

上野さんのクラスでは、生活の中で興味を持ったことについて、自分で調べて報告書を書くことになりました。上野さんが書いた【報告書の組み立て】と【上野さんが書いた報告書】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告書の組み立て】

①	<ul style="list-style-type: none"> 「昔はどのようにしてご飯をたいていたのか」について調べた。
②	<ul style="list-style-type: none"> 昔はご飯をたくだけでも大変な作業だった。 今は楽にご飯がたけることを感じやしたい。 ほかの家事についても調べてみたい。
③	<ul style="list-style-type: none"> 昔は、かまどに火をおこしてご飯をたいていた。 ※火かけんを調節するため、あまり目がはなせなかった。 ・一九五〇年代に、自動でご飯をたける電気すい飯器が発売された。 ※保温はできない。ご飯はほかの入れ物にうつす。 ・一九六〇年代、保温もできるすい飯器が発売された。
④	<ul style="list-style-type: none"> 理由：ガスや電気のない時代にどのようにご飯をたいていたのか、知りたくなった。

【上野さんが書いた報告書】

わたしは、昔はどのようにご飯をたいていたのかについて、調べることにした。

今はすい飯器にスイッチを入れればご飯ができるが、電気のない時代にどのようにご飯をたいていたのか、知

りたくなかった。あだ。調べたところ、次の三つのこと

一つ目は、昔は、かまどに火をおこしてご飯をたいていたことだ。このとき、火かけんを調節するため、あまり目がはなせなかったようだ。

二つ目は、一九五〇年代に、自動でご飯をたける電気すい飯器が発売されたことだ。ただし、

い

三つ目は、一九六〇年代、保温もできるすい飯器が発売されたことだ。

調べてみて、昔はご飯をたくだけで本当に大変だったんだと感じました。今はスイッチを入れるだけでよいので、楽にご飯がたけることを感じやしたいと思う。

今度は、せんたくなど、ほかの家事についても調べてみたい。

一 【報告書の組み立て】の①④は、報告書の何にあてはまりますか。次の1から4からそれぞれ選び、その番号を書きましよう。

- 1 終わりに
- 2 分かったこと
- 3 テーマ
- 4 初めに

①	3	②	1	③	2	④	4
---	---	---	---	---	---	---	---

二 【上野さんが書いた報告書】の「あ」に入る言葉を、ひらがな二字で書きましよう。

から

三 【上野さんが書いた報告書】の「い」には、どのような内容が入りますか。【報告書の組み立て】の内容を参考にして、次の〈条件〉にしたがって書きましよう。

〈条件〉

- 一文にまとめて書くこと。
- 「ただし、」に続く形で、報告書のほかの文に合う書き方で書くこと。
- 二十字以上、四十字以内で書くこと。
- 原稿用紙の使い方にしたがって書くこと。

例

た	だ	し、	保	温	は	で	き	な
い	の	で、	ご	飯	は	ほ	か	の
入	れ	物	に	う	つ	さ	な	け
ば	な	ら	な	か	っ	た	。	

四 【上野さんが書いた報告書】の中に、一か所文末の言葉の使い方がまちがっているところがあります。その部分を五字以内でぬき出し、正しい言葉に直して書きましよう。

まちがっているところ

感じました

正しい言葉

感じました

五 あなたは、【上野さんが書いた報告書】を読んで、どのようなことについてどのように感じましたか。【上野さんが書いた報告書】の内容を使って書きましよう。

例

昔は自分で火かげんを調節しなければならなかったもので、ご飯をこがすことも多かったのではないかと感じた。